

SMC金融・経済マーケットレポート

Reporter Your Financial Brain SMC 豊島 健治

政策金利と貸出金利（短プラ変化と連動性）

先週から銀行の中間決算が集中的に公表されました。新聞報道などでご案内の通りですが、概ね好決算揃いだったようです。しかし、今回の決算の内実は楽観できる内容ではないと云われています。債務者区分引上げによる不良債権縮小（貸倒引当金戻入）と金利低下による債券売買益増加という神風に助けられた決算というのが大方の見方です。多分、外れてはいないと思います。そんな銀行には、「（政策金利が）上がった時は（貸出金利を）直ぐ上げ、下がった時は下げない」という評価があります。ある社長は、昨年、政策金利が下がったにも拘わらず金利を上げられ、今夏日銀の金利政策が変わったにも拘わらず金利を下げようとしな、とこぼしていました。台所が苦しいので取引先を峻別し、かなり厳しい金利対応しているのは間違いないと思いますが、対策として先ず事実を把握する必要があります。政策金利と銀行の短期プライムレート（以下、短プラ）推移を再度調べ直して表にしてみました。（出所：日銀及び各銀行、単位：%）（大手主要行短プラは千葉銀比較 0.375%で推移）

項目 時期	日銀政策金利・誘導金利				千葉銀行 短プラ	千葉興銀 短プラ	京葉銀行 短プラ
	基準貸出金利	上下幅	コールレート	上下幅			
2001/9-10	0.10%	0.15%	0.00%	0.15%	1.750%	1.750%	1.875%
2006/7-8	0.40%	0.30%	0.25%	0.25%	2.000%	2.000%	2.125%
2007/2-3	0.75%	0.35%	0.50%	0.25%	2.250%	2.250%	2.375%
2008/10-11	0.50%	0.25%	0.30%	0.20%	2.050%	2.050%	2.175%
2008/12-1	0.30%	0.20%	0.10%	0.20%	1.850%	1.850%	1.975%
2010/8	0.30%	-	0.08%	-	1.850%	1.850%	1.975%

確かに一昨年後半、2回の政策金利引き下げがありました。それに伴い、大手銀行は勿論、地方銀行も短プラを同幅引き下げています。当然ですが、変動金利型の借入については、短プラ引き下げに連動して下がっているものと思います。返済予定表をみて確認してみてください。もし、下がっていないとすれば、それは固定金利型であるか、若しくは金利変更ルールのないタイプの借入であると思われる。固定金利型はその名の通り短プラが下がっても下がりにません。しかし、固定金利型でないにも拘わらず下がっていないのは、銀行が意図的に下げないからです。

その代表的貸出が手形貸付、所謂「手貸」です。現在、証貸（証書貸付）は殆ど金利変更のルールを設けるタイプとなっていますので、ルールに従って変動するようになってきていると思いますが、手貸は違います。書替時の交渉が重要となってきます。重要な先以外、銀行から進んで下げます等とは切り出さない筈です。あるいは下げを小出しにする筈です。「短プラが0.25%下がったのだから手貸も今回の書替から0.25%下げて欲しい」と強くしつこく申し出なければなりません。黙っていても下げてくれるだろう等というのは甘い期待に過ぎません。それでなくとも、激しい貸出競争の中で貸出金利が下がり気味です。本部から「簡単

に下げるな」というような厳命が下がっていることは容易に想像できます。

貸出市場の現実を知るために、日銀資料から政策金利の変更から6ヶ月後の長短貸出金利（加重平均）がどう変化しているか追ってみたのが下表です。結果は見ての通りです。上げ時追従率より下げ時追従率の方が高くなっています。思いのほか下げの追従率が高くないという印象です。やはり「上げられず、下げさせられている」のが実態のようです。それを頭に入れて交渉して下さい。

項目 時期	短期貸出金利		長期貸出金利	
	金利	変化	金利	変化
2006/7	1.287		1.792	
2007/1	1.464	0.177	1.905	0.113
2007/3	1.538	0.074	1.932	0.027
2007/9	1.667	0.129	2.028	0.096
追従率	0.380	76.0	0.236	47.2
2008/11	1.539		2.012	
2009/1	1.446	0.093	1.961	0.051
2009/5	1.271	0.175	1.878	0.083
2009/7	1.286	0.015	1.808	0.070
2010/8	1.166	0.120	1.687	0.121
追従率	0.373	93.2	0.325	81.2

（単位：%）

発信日：2010.11.20 第623号

《複製・転載等にご連絡下さい》

TEL. 0438-53-6092 FAX. 0438-53-6096

URL: http://www.hi-ho.ne.jp/smc_toyo/

Email: smc_toyo@hi-ho.ne.jp